

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成21年3月2日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

需要面・・・個人消費は、弱い動きとなっている。

大型小売店販売額、ホームセンター・家電量販店販売額とも前年を下回った。(12月)
用途別着工建築物工事金額は前年を上回ったが、乗用車新車新規登録台数、新設住宅着工戸数、公共工事請負金額は前年を下回った。(1月)

産業面・・・鉱工業は、弱い動きとなっている。

鉱工業生産指数は、季節調整済指数が前月を下回り、原指数も前年を下回った。(12月)

雇用面・・・有効求人倍率は、厳しい状況が続いている。

きまって支給する給与、所定外労働時間とも前年を下回った。(12月)
求人倍率は、新規、有効とも前月を下回った。新規求人数は前年を下回った。(1月)

需要面の動き

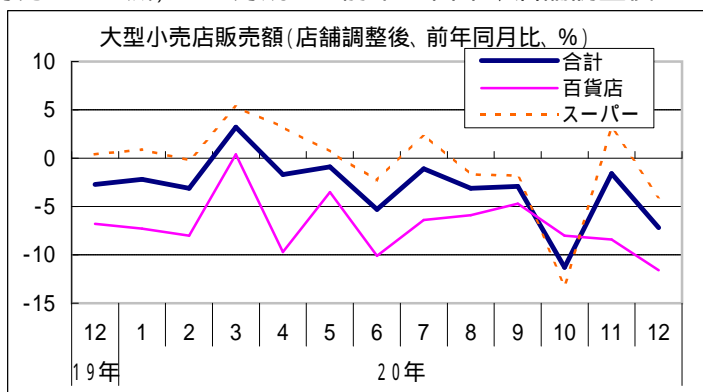
大型小売店販売額(12月)

全店舗の販売額は、62億3,449万円(前年同月比8.6%減)と9か月続いて前年を下回り、店舗調整後でも9か月続いて前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比
合計	623,449	8.6 (7.2)
百貨店	253,389	11.6 (11.6)
スーパー	370,060	6.5 (4.0)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(12月)

43億4,895万円(前年同月比7.1%減)と3か月続いて前年を下回った。

乗用車新車新規登録台数(1月)

1,071台(前年同月比19.5%減)と6か月続いて前年を下回った。普通車、小型車、軽自動車とも前年を下回った。

新設住宅着工戸数(1月)

143戸(前年同月比32.9%減)と2か月ぶりに前年を下回った。減少の内訳では、貸家の減少(前年同月比43.4%減)が大きかった。

用途別着工建築物工事金額(1月)

8億3,404万円(前年同月比20.9%増)と3か月続いて前年を上回った。用途別では、情報通信用(前年同月は着工なし)等が前年を上回った。

公共工事請負金額(1月)

36億4,800万円(前年同月比34.2%減)と3か月続いて前年を下回った。発注者別の内訳では、独立行政法人等の減(前年同月比80.4%減)が大きな割合を占めた。

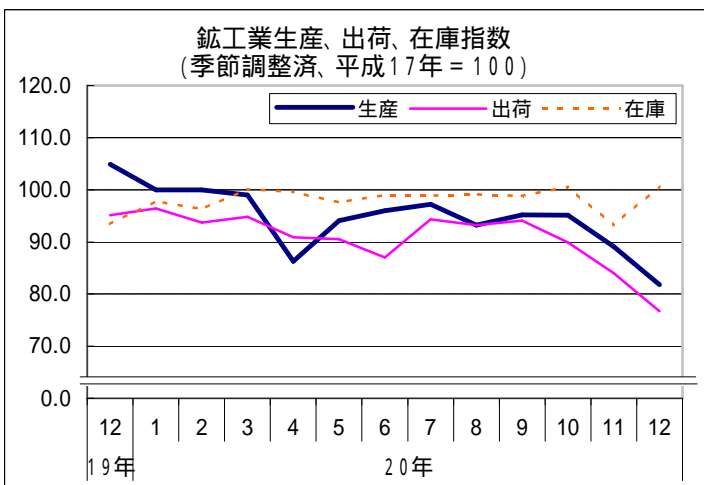
産業面の動き

鉱工業指数(12月)

生産指数(季節調整済)は81.8(前月比8.2%低下)と3か月続いて低下し、原指数は90.4(前年同月比18.2%低下)と3か月続いて低下した。

内訳を前月比でみると、食料品・たばこが4.4%上昇、電子部品・デバイスが22.3%低下、電気機械が8.7%低下、一般機械が11.3%低下した。

在庫指数(季節調整済)は100.7と前月比8.0%上昇した。



大口需要電力実績(12月)

112,153千kwh(前年同月比21.3%減)と5か月続いて前年を下回り、鉱工業も全ての区分で減少し23.1%減少した。

青果物卸売量(1月、鳥取市場)

野菜が1,240t(前年同月比1.2%増)と3か月ぶりに前年を上回り、果実も710t(前年同月比2.2%増)と2か月ぶりに前年を上回った。

漁獲量(1月、境港)

9,694t(前年同月比71.4%増)と2か月続いて前年を上回った。

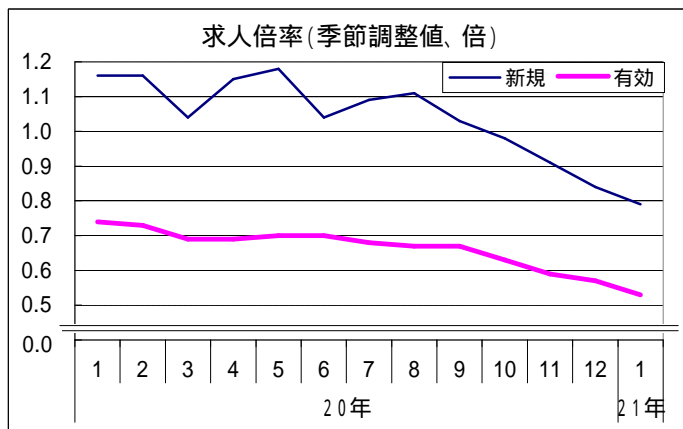
雇用・金融面の動き

新規求人倍率(1月)

0.79倍(前月差0.05ポイント低下、前年同月差0.37ポイント低下)であった。なお、新規求人数は、3,433人(前年同月比17.2%減)と16か月続いて前年を下回った。

有効求人倍率(1月)

0.53倍(前月差0.04ポイント低下、前年同月差0.21ポイント低下)と3か月続いて0.6倍を割っている。また、0.5倍台が続くのは、平成14年3月(4か月連続)以来である。



現金給与総額(12月)

566,869円(前年同月比2.8%増)と5か月ぶりに前年を上回った。そのうち、きまって支給する給与は、250,635円(前年同月比0.6%減)で5か月続いて前年を下回った。

所定外労働時間(12月)

7.9時間(前年同月比19.4%減)と5か月続いて前年を下回った。主力の製造業は27.2%減となった。産業別の前年同月比では、電気ガス水道業(前年同月比40.1%増)等で前年を上回り、運輸業(前年同月比33.7%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(12月末)

預金残高は、1兆8,884億円(前年同月比0.2%減)と2か月ぶりに前年を下回り、貸出金残高は、1兆1,262億円(前年同月比2.4%減)と28か月続いて前年を下回った。

参考

鳥取県景気動向指数(12月)

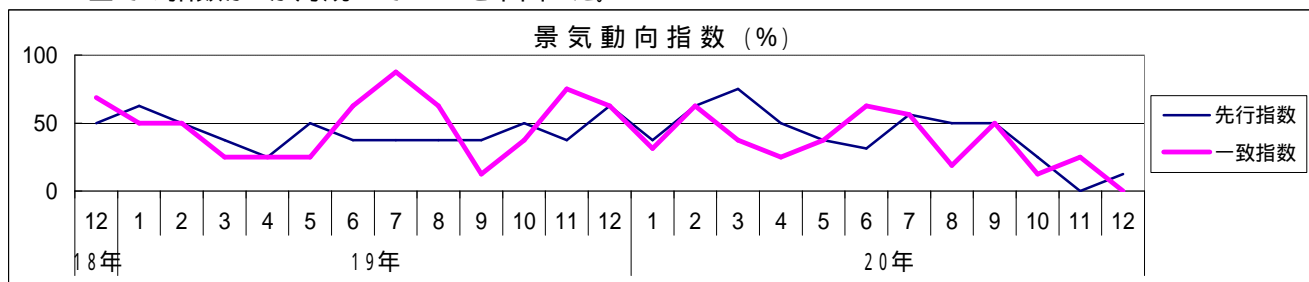
先行指数12.5%、一致指数0.0%、遅行指数20.0%となった。

先行指数は3か月続いて50%を下回った。

一致指数は3か月続いて50%を下回った。

遅行指数は4か月続いて50%を下回った。

全ての指数が3か月続いて50%を下回った。



企業倒産(1月)

件数は9件(前年同月比80.0%増)で3か月続いて前年を上回り、負債総額は31億9,900万円(前年同月比232.5%増)で2か月ぶりに前年を上回った。

消費者物価指数(1月、鳥取市、総合、平成17年=100)

100.4となり、前月比(0.5%下落)は5か月続いて下落し、前年同月比(0.3%上昇)は15か月続いて上昇した。

鳥取県の推計人口(2月1日現在)

594,058人で、前月と比べて379人(0.06%)減少し、前年同月と比べて4,903人(0.82%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成21年2月調査)

平成21年1～3月期は、平成20年10～12月期に比べると景気、売上高、経常利益ともきわめて不調である。

平成21年4～6月期は、平成21年1～3月期に比べると景気、売上高、経常利益ともきわめて不調となる見通しとなっている。